

令和8年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2
年組	1年2・3組	教科書(発行所)	情報 I 図解と実習(日本文教出版)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点		
			知	思	態
4	オリエンテーション	教科『情報』で何を学ぶか	○		○
	情報社会を見渡してみよう	SNSの普及と情報モラル		○	
		情報社会を支える法律	○		
		情報通信技術で変わる社会			○
5		(中間考査)	○	○	
	メディアとコミュニケーション	コミュニケーションとメディアの変遷	○		
		コミュニケーション手段の多様化	○	○	
		ネット上のコミュニケーションの特徴		○	
		ソーシャルメディアの活用と注意点	○	○	
6	情報デザイン	情報デザインの基本	○	○	
		誰にとってもわかりやすい情報デザイン	○		○
7		(期末考査)	○	○	
7		オリジナルWebサイト制作	○		○
		〃		○	○
		〃		○	○
8	情報のデジタル化	デジタルデータと2進法	○		
		文字・音のデジタル化		○	
		画像のデジタル化		○	
		動画のデジタル化		○	
		圧縮のしくみ			○
	コンピュータのしくみ	コンピュータの基本的な構成	○	○	
		(中間考査)	○	○	
10		CPUとメインメモリ	○		
		CPUの演算のしくみ		○	
	アルゴリズムとプログラム	ものごとの手順とアルゴリズム		○	
		アルゴリズムの図式化		○	
11		フローチャートであらわす	○		
		プログラミングとプログラミング言語	○		
		プログラミングの構造		○	
12		(期末考査)	○	○	
12		プログラミング実習	○		○
		〃		○	○
		〃		○	○
1	モデル化とシミュレーション	モデルを利用した問題解決	○		
		モデルを使ったシミュレーション		○	
	情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークのしくみ		○	
		IPアドレスとプロトコル		○	
		WWWと電子メール	○		○
2		個人認証と暗号化		○	○
		(学年末考査)	○	○	
	情報システム	情報サービスを支える情報システム	○	○	
		データベース	○	○	
3		データの活用とデータモデル		○	
	一年間のまとめ	さらに深く学ぶために		○	
【備考】					
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。					

学習の目標

情報機器を活用して適切な情報収集や発信ができる実践力を身に付ける。情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について科学的に理解する。情報モラルを身につけて適切に情報社会に参画する態度を養う。

授業の進め方

教科書とワークブック(サブノート)を使い、これらに沿って授業を進める。授業ではタブレットを使う。また、必要に応じてインターネット教室でパソコンを使用することもある。各自が様々な実習課題に取り組むことで理解を深める。

学習の方法

家庭学習ではサブノートによる学習が中心となる。定期考査の問題は主にサブノートからの出題となる。学校において実習課題に取り組むさいに、時間内で終わらないこともある。そのさいはタブレットを用いて家庭で続きをする場合があるし、インターネット教室を放課後等の時間に利用することもできる。

評価の観点

<知識・技能>
情報化の進展する社会と人間の関わりを理解し、問題の解決のために情報を活用するための技能を身に付けている。
<思考力・判断力・表現力>
様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見や解決に向けて情報を適切かつ効果的に用いている。
<主体的に学習に取り組む態度>
問題の発見や解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価して改善しようとしている。

評価の方法

定期考査だけでなく、提出された実習課題やサブノート等をみて評価する。また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。